

## JR連合グループ労組

### 2021春闘総決起集会

2月10日、JRグループ労組連絡会は、大阪市「TKPガーデンシティ大阪リバーサイド」を

メイン会場に5会場をテレビ会議システムで繋ぎ、2021春闘総決起集会を開催



し、加盟全単組が「ON TEAM」で、今次春闘を闘い抜く決意を固め、貨物連合からは南関東ロジ労組山田委員長・宮本書記長、中国ロジ労組小早川書記長、小山事務局次長が参加しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の波が襲来する度に、政府や自治体が国民に対して不要不急の外出・移動自粛を要請してきたことで、JR産

業は発足以来最大の経営危機に陥り、未だ業績回復への道筋すら描けず危機的な状況が続いています。そうした状況下で迎える2021春闘ですが、社会的役割を果たすために奮闘し続けている多くの仲間とその家族の存在を忘れてはなりません。改めて、労働組合の存在意義を含めて自問自答し、企業に過度に付度した闘争ではなく、労働者のための闘争に挑んでいきましょう。

今次闘争においては、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ることを最優先に取り組み、産業の特長でもあった「安心」を取り戻さなくてはなりません。このことを本日全体で確認し、今できることを精一杯取り組む姿勢を示すことで、労働組合の必要性と健全な労使関係の重要性、そしてJR連合の存在を内外に発信していきましょう。

集会の中では、JRグループ労組連絡会の各分科会から代表決意表明があり、陸運を代表し、南関東ロジ労組山田委員長が会社の状況・組織拡大と強化・2021春闘の取り組みとして、貨物連合グループ労組と貨物鉄産労は一体となり月例賃金総額2%相当分・1000円の純ベア要求を行い、必達目標賃金到達と「働きの価値に見合った水準」への



引き上げ、JR産業内の格差是正に取り組むことを力強く表明しました。